

会 議 録

会議の名称	第3回 東由利地域協議会
開催日時	平成22年1月19日(火)午後1時30分
開催場所	東由利総合支所二階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	畠山与一、遠藤忠平、小松耕之助
【会議次第】	
1. 開 会	
2. 会長挨拶	
3. 協 議	
・公の施設の見直し計画(案)について	
・地域づくり推進事業(ソフト事業)について	
4. そ の 他	
5. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 14名)

役職名	氏名	備考
会長	長谷山 博 昭	
副会長	小松 佳 和	
	渡 辺 幹 夫	
	小松 彪	
	伊 東 文 雄	
	鈴 木 博	
	小松 正 武	
	小松 由 子	
	阿 部 夕 子	
	石 綿 喜代隆	
	高 橋 京 子	
	大日向 与志子	
	長谷山 光	
	佐 野 陽 子	

理事	猿 田 正 好	
行政改革推進本部 次長兼室長	佐 藤 一 喜	
行政改革推進本部 次長兼課長	真 坂 誠 一	
総合支所長	伊 藤 俊 彦	
振興課長	加 賀 秀 喜	
市民課長	佐 藤 順 一	
福祉保健課長	佐々木 喜 隆	
産業課長	小 番 直 義	
建設課長	柴 田 和 尋	
東光苑施設長	大 庭 敏 昭	
教育学習課長	高 橋 裕 子	
事務局	小 野 信 子	
	小助川 洋	

会議の経過

第3回 東由利地域協議会

と き 平成22年1月19日(火)
午後1時30分～3時
ところ 東由利総合支所二階
第3・4・5会議室

1. 開 会 午後1時30分

2. 会長挨拶

昨年来の米国発の金融危機で経済が停滞し、非常に心配された年明けだった。米国でオバマ政権が誕生し、いくらか明るい兆しが出てきたのかと期待しているが、金融恐慌の一步手前と言うことで、大変な時代だと感じたし、年明けしてもまだまだ続いている状態である。

国内においても、去年は大きな出来事があり、自民党政権が下野し民主党政権が誕生した。あわせて、デフレ対策等に政府が取り組んでいるが、やはり世界的な経済恐慌の流れの中で、なかなか浮かび上がれない状況である。給料は上がらないし、物価も下がるという大変な時代である。

秋田県でも去年は知事選挙があり、また、由利本荘市でも長谷部新市長が誕生した。また、10月には市議会の選挙もあった。新しい議員の方々も誕生したが、長谷部市政はその新しい議員さんも含めて、これから4年間担うわけである。その意味では様々な課題を一つ一つクリアしていきながら、いわゆる「元気で明るいまちづくり」を一带となって取り組んでいければいいし、我々一市民としても願うところである。

本日の協議会は、公の施設の見直しと地域づくり事業についてご協議いただくことになるので、何卒よろしく願いたい。

3. 協 議

- ・公の施設の見直し(案)について

真坂行政改革 推進本部次長 兼課長	(資料に基づき説明)
議長	<p>公の施設見直し(案)について具体的説明をしていただいた。だいたい行革の委員会などでも十分検討し、今回107施設をとりあげたということだろう。この中身については前回協議会で示された対象施設500数施設の一部ということだそうだ。委員の皆さんから質問等あればよろしくお願ひしたい。</p>
A委員	<p>東由利の中で、対象となっているのかどうか分からない施設があるが、朋楽荘はどうなっているのか。</p>
真坂行政改革 推進本部次長 兼課長	<p>庁内では検討してきたが、平成20年度から休館している。今後は使われる要素は少ないという状況のため、廃止したいと考えているが、補助金で建てており、制限がある。構造がコンクリートで、補助金の制度上、処分の期限まで65年経たないといけない。手を付けられない状況のため、そのままにしている。</p> <p>国で進めている規制緩和の話もあり、各関係機関等と検討したい。有効活用が出来れば、それも考慮して検討していきたい。</p>
B委員	<p>朋楽荘について、利用状況はどのくらいか。また、今後5年間は現存と言うことだが、市として有効利用する方法、例えば改造して中学校の部活動研修所として使う、などの検討はしているのか。</p>
真坂行政改革 推進本部次長 兼課長	<p>利用状況については、平成20年度から使われていない。それ以前については、資料がないので今はお答えできない。</p> <p>朋楽荘は昭和49年に建設され、だいぶ経過している。有効活用については総合支所とも検討中であるが、なかなか有効活用の方法が今現在は見えないのが正直なところである。要請や提案が有れば、それも含めながら検討しないとといけないと考えている。但し、老朽化しているので、そのまま利用することには難しい点もある。もし、ご提案の内容によって使えるのであれば、有効活用も検討したい。</p>

A 委員	地域づくり推進事業の具体化案の中に、グリーンツーリズム事業として田舎交流ツアーがあるが、宿泊するのに朋楽荘を使えるのか。この計画の中で宿泊するか否かについての検討はいかがか。
伊藤総合支所長	グリーンツーリズム事業については、(2)で詳しく説明する。現段階では、年間プログラムを作って市としてお手伝いしたいということで提案しているのだが、まだ受け入れできる人数を詳しく積算していない。ただし、単発ではなく、継続して交流人口を増加させたいということで、朋楽荘のみならず、例えば大琴小学校や八塩小学校校舎も検討したい。 朋楽荘の利用については、数年前からほとんど利用がなかった。平成20年度に検討し、平成20年度から休止という形にしている。今後の有効活用については検討したい。
議長	朋楽荘も、皆さんから意見があれば、場合によっては検討するということのようだ。
B 委員	畜産広場とテニスコートについて、テニスコートの利用度は減少とある。しかし、畜産広場については、広場の下の方に保育園があるので何とか利用してもらえないものか。
真坂行政改革推進本部次長兼課長	畜産広場について、桜も植えられており、現在も保育園や住民が使っていると伺っている。利用促進をする場合には、整備をし直さないといけませんが、そういう利用方法も考えていかないといけない。
C 委員	施設の見直しは、行革で方向はもう決まっていることと思う。今後の廃止後の有効活用についての意見は出ているので、行革にはくみ取って欲しい。なお、この公の施設の見直しについて、行革本部に直接聞くということにはならないのか。
真坂行政改革推進本部次長兼課長	今日、この場で意見等が出なくても、後で直接電話をいただいてもいい。一応、2月いっぱいには成案にしたいので早めをお願いしたい。
佐藤行政改革	8月に説明したように、558の施設の内、見直し案として

<p>推進本部次長 兼室長</p>	<p>107施設、使用料の見直し案として130施設をあげたところである。提示したのは計画であり、これから、このような方向で条例改正や、跡地利用についてはこれから検討するものである。</p> <p>また、ここに載っていない施設もあり、有効活用を考えないといけない。地域の意見を聞いて、喜んでもらえるようにしたい。</p> <p>先ほども出たが、畜産広場については、「畜産広場」としての利用は終了するが、終了後は地域でいこいの場として利用してほしい。</p> <p>また、利用料について、今後3年間で進めるので、ご意見を総合支所を通してでも、直接でもいただきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>せっかく多額のお金を使って建てた施設なので、廃止後も有効活用する必要があるということである。ご意見については今月早めに直接電話なりでお願いしたい。</p>
<p>B委員</p>	<p>方向性の検討する施設の中に、保育園がある。保育園について、直営は何施設あるのか。また、東由利にある2つの民営保育園の今後の方向性はどうか検討しているのか。</p>
<p>真坂行政改革 推進本部次長 兼課長</p>	<p>今、保育園は、本荘地域に私立が12施設ある。東由利は二つ。矢島の保育園も私立である。岩城は道川保育園が指定管理制度であり、施設自体は公営だが運営を私立である。公立は岩城の亀田保育園、由利保育園、大内は3つあって岩谷、下川大内、上川大内の各保育園、西目保育園、鳥海が3つ、川内、笹子、直根の各保育園である。</p> <p>また、幼稚園は、本荘に私立が4つ。西目に公立が1つである。</p> <p>この計画に載っているのは公の施設であり、市で運営している保育園、幼稚園が対象である。</p> <p>民間でやっているところもあるので、民間に頼むのか、もしくは直営を続けるのかを検討していく。</p>
<p>議長</p>	<p>これで公の施設については終了させていただきたい。続いて、猿田理事から一言ご挨拶させていただきたい。</p>

・地域づくり推進事業（ソフト事業）について

理事挨拶

今年3回目と言うことで、協議会の中で考えている事業は新年度予算に確実に反映できるようにしたい。来年度予算は、現在最終の詰め作業に入っている。地域づくり推進事業については、何度も申し上げているとおり、地域で主体的に取り組んでいただき、内容もやり方についても一定のルールを逸脱しない範囲で地域にお任せするものである。事業の羅列方式の予算づけではなく、地域に300万円を一括して渡す、というやりかたになっている。具体化してから事業の内容に応じて組み替えなどで対応したい。

今日、3回目で、一定の結論ができるかと思うが、それほどこの事業について焦って詰めないといけなわけではないので、年度末までじっくりと検討してもらいたい。

但し、何も内容が無く予算を作成するというを議会に説明することはできないので、ある程度の内容を作ってもらいたいと思うし、それで充分である。

また、今、市長が各地域でふれあいトークを実施している。今日は矢島でふれあいトークをしており、2月中旬までかけて実施を予定している。当地でも1月27日の予定である。市長が全般にわたる話をした後はフリートークとなるので、ご遠慮無くお話しして欲しいという場である。

3月議会もまもなく日程が決まるところであり、仕上げの年度末である。

どうぞよろしくお願いいたします。

議長

ふれあいトークについてお話いただいた通り、当地は1月27日であるので、ぜひご都合をつけていらしていただきたい。では、地域づくり推進事業について事務局から説明を。

加賀振興課長

地域PR，連帯感の醸成から大きく3つにまとめてみた。
(資料の説明)

議長

ただいまご説明いただいた内容は、前回、委員の皆さんから出していただいた案を、いくつかの「島」に区分した上で、事務局で集約したものである。前回の会議でも、次回も提案可能ということだが、とりあえず前回のものをまとめて、グリーン

ツーリズム事業、黄桜植樹祭、民謡踊り芸能祭という形になった。この点について、委員の皆さんからご意見をお願いしたい。

C委員 私からお尋ねしたいのだが、黄桜周遊ルート of 植樹祭について、いこいの森を起終点にぐるっと東由利をほぼ一周するように植えるということか。

加賀振興課長 そういうことである。一度にはできないので、計画をたてて何年かかけてやることになる。

C委員 ということは、継続しながらの事業となるということでしょうか。

加賀振興課長 そのとおりである。

D委員 前回、秋まつりのことをお話ししたが、この中に入っていないのはどうしてか。

伊藤総合支所長 秋まつりについては、米まつりも含めて、今後、市の農業水産課と産業課で在り方の検討が始まったところである。ただ、秋まつり自体は継続するが、「東由利うまいもの祭り」を秋まつりにぶつけるなどをすればいいのではないか。もちろん、今日さらに意見があれば組み込んでいける。今回はまだ細かい積算まではしていない。第4回目まで中身、予算の概算をまとめたい。ご提案をぜひいただきたい。

C委員 最終的には4回目で決めることになるが、今、細かい経費は出さないといけないのか。

伊藤総合支所長 委員の皆さんでこれを進める、と決まってから積算したい。今の段階でいくら、ということではなく、今回意見が出たものを反映させて4回目までに取りまとめる。

なお、グリーンツーリズムについては、東由利を売り込もうというものである。そのためには、人に来てもらって、さらに口コミで広げてもらって増やしていきたいというものである。

桜の植樹については、今年の新春座談会でも類似のご意見が出ていた。ただ植えるというのでは人が集まらないので、例え

ば桜に名札をつけるなどの方法がある。

芸能活動については、東由利出身の芸能家が結構いるので、そういう人が年1回程度来てもらえれば地域の一体感が醸成できるのではないかと。

B 委員

平成21年11月の第2回目で各委員から出た意見をまとめた集約一覧を見ると、東由利のPR、活性化に力を入れる提案が多くて感動したところである。

今回の具体化案が3点ほどあるが、事務局案としてはどれを最初に着手したいのか。考えていることが有れば教えて欲しい。

また、桜について、大琴地区には植える場所がたくさんあるが、それ相応の期間と経費がかかると思うが、経費と期間についてはいかがか。

伊藤総合支所
長

現実的に先に着手することが可能なのは、グリーンツーリズムである。桜について、今からだと4～5月に実施するのは苗木の調達など準備の点で難しい。3つめのイベントについても、スケジュールの都合などもあり即着手は難しい。さなぶりまつりを想定して6月としているが、6月実施も難しいかも知れない。とりあえず、この中で先に着手するのはグリーンツーリズム事業であろう。

桜の苗木の調達については、市のふるさとさくら基金を使ったり、県の緑化推進の事業もある。また、日本さくらの会からも入手が可能であり、そういう調達を考えている。

E 委員

グリーンツーリズム事業について、朋楽荘を宿泊施設として活用できると良いのではないかと。なお、こうした事業をやる上で、東由利地域は都心から遠いということがネックであり、そのデメリットをはねのける魅力がないといけないと思う。

また、この事業を実施する東由利グリーンツーリズム研究会は会員が4人であるので、ぜひ皆さんにも研究会に入っていたくなりして欲しい。実際にグリーンツーリズム事業をやる人が楽しくないと長続きはしないので、その点も考慮して欲しい。

伊藤総合支所
長

朋楽荘についてだが、実際にグリーンツーリズム事業をスタートさせて何人が宿泊するのかがまだわからない段階である。また、朋楽荘を泊まれるようにするのも手ではあるが、地域に

お金を落としてもらわないといけないので、まずは地域の既存の宿泊施設を使ってもらうことを考えている。ものを買ったり、宿泊してもらったりということがまず大事である。事業がうまくいって宿泊客が増えると、今後既存施設の利用なども考えていかないといけない。

また、グリーンツーリズム事業は2～3カ月かけて、しっかり練った上で実現に向けていきたい。市役所内においてそうであるが、皆さんとも詰めていきたい。実際にやることになったら、ご相談・ご協力をお願いしたい。

A 委員

黄桜周遊ルートの植樹祭について、植えるのはいいのだが大事なのは管理であり、それが大変である。5、10年先の長い期間で管理体制はどうお考えか。

伊藤総合支所
長

おっしゃるとおりである。例として、市では芋川河川敷に桜を9km植えたが、オーナー制を導入している。年2～3回程度、オーナーに呼びかけて、出られる人で草刈をしている。自分で植えた木という意味で愛着を持ってもらうことがねらいである。最低限、防除等は市が行うが、市と植えた人が一緒に管理する体制を目指したい。

C 委員

植えた後の管理が大事である。それには当然、地元の人達の協力が無いといけない。総合支所長からあったとおり行い、桜に病気がついたようなときは素人ではできないわけであり、業者に頼んだりすることになるだろう。

また、グリーンツーリズム事業地域活性化イベント「山菜まつり」について、この地域では4月末～6月いっぱいまで山菜がとれる。他のイベントと「山菜まつり」とを組み合わせ、地域外からの誘客をし、そして山菜を買ってもらうなどして、より人が集まりやすいイベントに工夫できると良いと思う。

できたら、その中に東京東由利会の方々や、東由利地域出身の在京民謡家などが一緒に来てもらっても効果があるのではないか。

F 委員

グリーンツーリズム研究会では、今まで芋掘りイベントを7回やってきているが、30人～50人の参加者を集めるために、スタッフが20人も必要であるというのが現状であり、それも

全員がボランティアである。だれがやるのか、どうかたちをとるのかということが具体化しないと進まない。また、行政サイドのサポートと関係者の頑張りが必要である。準備からおしまいまでやらなくてはいけないわけであり、大変であるので、その点をくみ取って欲しい。

もう一つ桜の関係についてだが、これも地域住民の応援がないと実施は不可能である。植樹場所の選定についても、地域住民でないとどこに植えたらよいかはわからない。地域の人に場所の選定をしてもらって欲しい。その後のこともお願いしながらでないでないと長続きしない。すばらしい構想ではあるので、夢の実現のために、具体的な場所の選定と方法を具体的にもっていかないといけない。

伊藤総合支所
長

私どももその点を十分踏まえて、心して準備したい。

C委員

F委員の質問について、具体的なことはこの後検討するということが。

伊藤総合支所
長

グリーンツーリズム事業については、この内容で確定することを踏まえて、担当にも既に準備に着手させているところである。十分検討して進めていきたい。

議長

F委員にはいろいろとアドバイスをお願いしたい。

G委員

山菜まつりについて、開催時期が5月下旬と書いてあるが、5月中旬頃に八塩いこいの森の観桜会があるので、その観桜会と一緒に開催はできないのか。また、山菜まつりの開催場所はどこか。

伊藤総合支所
長

こういう形で開催できればいいのかと思い提案したところであり、ご意見をもとに時期や場所を検討したい。

議長

その際はぜひご意見をお願いしたい。とりあえず、山菜まつりは黄桜まつりにおいてもできるかもしれない。またイベントの開催場所も含めて、委員の皆さんからも知恵を借りていきたい。

伊藤総合支所長 今回頂いたご意見をもとに、4回目の地域協議会にて提案したい。また、第4回目のときに出された意見も当然反映させる。

議長 今日、新規に持ち寄った提案はありますか。

B委員 東由利で毎年7月下旬にスポーツ祭が開催されてきたが、今年も予定はあるのか。スポーツ祭は東由利中学校グラウンドで行ってきたので、中学生のみならず小学校の高学年にも踊り等の活動を披露していただきたいと思っている。また、スポーツ祭の競技進行をスムーズになるよう要望したく、また、内容について再検討をお願いしたい。

高橋教育学習課長 平成22年のスポーツ祭は、検討を加えて実施したい。

A委員 公の施設の見直しについて、八塩ダムの釣り場の廃止がとりあげられているが、この釣り場の廃止をぜひお願いしたい。現在もたまには釣りをしている人がいる。過去に死亡事故もあったので事故の未然防止のためにも、ぜひ廃止して欲しい。また、釣りの禁止を示す立て札も立てて欲しい。もっとも、冬期のワカサギ釣りは検討が必要かもしれないが、少なくとも夏場の釣り場は廃止をお願いしたい。

C委員 前回の会議の中でも「東由利のカラーがあるものを」という案もあった。皆さんの意見を一つ一つクリアしていけば、おそらく東由利はこういうまちなんだなという、カラーは出てくるのではないだろうか。旧・東由利町の「元気で明るいまち」や「山紫水明の里」というキャッチフレーズがあったが、東由利のカラーを出した取り組みをやれば、もっともっと元気が出るのではないだろうか。

4. その他

伊藤総合支所 今日の内容とは関係はないが、由利本荘市8地域協議会会長

- 長 ・副会長連絡会議を2月10日に東由利で行うことになっている。
地域の皆さんにも案内しようと考えているのが、地域伝道師で元小樽市職員としてガラスのまち・小樽を成功させた木村氏による地域づくりの講演がある。これは、8地域協議会会長・副会長連絡会議の施設見学等を昨年までは行ってきたがその代わりに、講演会に参加していただくことにしたものである。
地域協議会の委員の皆さんにもご案内を差し上げたいので、ご希望の方にはぜひ来ていただきたい。
- 議長 次回協議会の開催日程についてはどうか。
- 加賀振興課長 今のところ、2月中旬頃にやりたいと考えている。
- 伊藤総合支所長 3月議会が始まる前に行いたい。
- 副会長 今日是有意義な会議となりご苦労様でした。あまり事業展開が増えると一つ当たりの予算が減ってしまう。しかし、東由利らしい事業として事務局から提案してもらった。これらを十分活用すれば、この地域はまだまだ夢は伸びるのではないだろうか。今後の地域の活性化に向けてよろしく願いしたい。

9 . 閉 会 午後3時